

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	りんく田原教室
------	---------

公表日 2026年3月30日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペース内に配置されている物は必要最低限(卓、椅子)で、児童でも簡単に移動が可能となっている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	利用定員、児童の状態等に対する職員の配置数は適切で、児童らの表情や態度等を、職員がよく観察し、必要に応じて傾聴や共感、助言等に対応していると思います。	児童が複数名来所する時に送迎が重なって教室にいる職員が1人の時があるので、2人以上はいた方が児童の安全を確保できると思う
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		児童が用いる備品や用具が、カテゴリー毎に配置され、扱いやすくなっている。また、施設内はバリアフリー化がなされていて、段差を極端に軽減し、転倒などのリスク軽減が図られている。	トイレの場所、手洗い場(方法)、デスク場所など、利用する際の手順などをイラストや文字で“見える化”する必要がある部分などあるので、環境改善はしていきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	食事やおやつなどの際に、児童自らに卓を拭かせたり、落ちたゴミなどをチリトリなどで取らせている点が、児童本人の自主性を育てる上でプラスの方向に働いていると思います。	学習と余暇時間の際の場所が同じではあるので、子ども達にも教室のマナーを理解してもらいながら、環境の位置なども見直して自然と座って遊べる(過ごす)ような教室づくりを考えていきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		壁で仕切られている部屋がある事で、他者の目を意識せずに、気持ちを落ち着かせたり、気分を変える事が出来るスペースが、確保されていると思います。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	携帯電話やスマートフォンでのチャットアプリケーションを用いて、職員個人が疑問に思った事や、気付いた事などを、即時に他の職員に伝えられる事で、職員間の情報の共有が図られている。	・大きな行事でも、下準備や話し合いなども無い為、当日まで自信をもち迎える事は出来ていない。全てがチャットなどで報告を受けるだけなので、全体でやる時には全体で集まり話す機会を設けていった方が良さそう。 →進捗状況がわかり、周知にも繋がる→保護者などへも誰でも共有出来る など利点に繋がると感じる。 ・運動会やピクニック、ワークショップなど、振り返りや共有が無いので、一部の周知などで解決している部分はあるように感じる。なので、次への改善や反映が難しい。職員も“参加”の部分が多いのではないかなと思う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	携帯電話やスマートフォンでの、保護者向けのチャットアプリケーションを用いて、日々の児童の様子や保護者の要望や意向、事業所からの連絡やお願い等の情報を共有して、相互のコミュニケーションが図られている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	定期的な申し送りや会議を実施する事で、職員個人の意見を聴いて把握し、職員間で話し合う事で業務改善に努めている。	会議後のアンケートを行うが、正直反映されないし、誰が見ているのかもわからない。教室の“職員の質や関係性の向上”の為に毎月の目的を定めているのかと疑問がある。 ある程度、教室としての形や関係性は出来ていると思うので、子ども達の為に支援を考える、統一させる為にはたらく方が良いのではないかなと感じる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		特に第三者の声を聞いてはいないので、教室間で良い、と判断していたり、改善出来るように動いているが、周りの見られ方はわからない。そういった面で、教室長の立場が大事なかなと感じる。現場のメンバーが主となる事も大事だが、教室のまとめ役がしっかり助言などをしていまながら、一緒に教室の見守り・運営をしていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		デジタル化された研修が用意され、時間や場所に縛られずに、職員が自らのスマートフォン等で参加できるようにされている。	自発に関わる事や、療育についての外部の学ぶ機会などの案内などを掲示してもらったり、参加する機会が時にはあったら良いのかなと感じる。日々チャットでのやり取りやマネビなど電子化が多いので、生の声を聞く事もどこか刺激を受けると思う。 自分のペースで進められるのは利点ではある。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	2		最近からアセスメントシートを通して個別支援計画書が作成されたので、より保護者のニーズや課題、支援を知ることができてきている。

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2		面談やモニタリングなども、チャットでの共有のみなので、直接共有する機会や面談の前の児童情報の振り返りも含め、共通理解や支援について深めていく必要があると感じる。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	5		支援計画の作成・計画に沿った支援は不十分だと感じる。 共有されている部分もあるが、共有→計画に沿った支援の順では出来ていないと感じる部分もある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	職員全員で共有している、「何が望ましい行動や態度であるのか」を児童らに示し、それに反するような行動・態度をとる児童に対しては、当該児童の特性などに配慮しつつ、適切な対応をとり、その後に職員間でそれを確認・共有している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		子どもの事を第一に考え、満足いく活動になるよう職員同士話し合いをしている。	企画書を作成している。児童の安全や環境づくりのためにも、もう少し早めの共有が必要と感じる。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		個人的には、子ども達の姿から活動内容を考えたり、興味をもってくれそうな機会をつくるようにしている。今後も、活動内容を考えながら定期的に取り入れていけるようにしていきたいと考えている。 子どもの事を第一に考え、満足いく活動になるよう職員同士話し合いをしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	3	個々にあった学習支援や生活面を配慮しながら、教室間でフォローは出来ていると思う。実際、成長へとも繋がっている部分もある。 児童各人の特性や興味関心等を考慮して、個別活動や集団活動への参加を促す支援計画が作成され、実施されていると思います。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		その日の流れについては、始業時やその都度職員間でよく連携はとれていると感じる。円滑にまわられている証拠でもあると感じる。 勤務時間開始直後にミーティングを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	振り返ったり話す事はある。 また、日報や翌日に話はできていたり、解決に向けてすぐに対応する事はよく出来ている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	徹底して、書面化と電子化による両方の記録をとり、支援の検証・改善に繋げている。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	2			
関係機関や保護者と	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		現場の声を反映していたり、面談日の直近について伝える事が多いように感じる。 また伝える者が、どういう思いでどういった内容を重視したいのかがわからないので、そこも事前に統一していく必要があると思う。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3	それぞれの関係機関との連絡・連携が緊密に図られ、支援を行う体制が整えられていると思います。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。					

の 連 携	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	・ボッチャ大会などで、地域との交流はあるので今後も継続的に参加出来たら良いと感じる。 ・他教室との交流も、大事にしていきたい。	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流は行ってないので、計画して欲しい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		bandやお便り帳、お迎え時の直接的なやり取りを大切にしている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	家族に対して家族支援プログラムは行っていないと感じる 保護者カフェ等の実施を通じて、それらがなされている。		
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	2		適切に動き始めたので、今後は継続し対応していきたい
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	3		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	「保護者カフェ」を開催して保護者同士交流する機会を設けている。きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援は不十分だと感じる。	・行事等で兄弟の受け入れの機会はあるが、安全面を考慮し、今後は適切な職員体制を整えていく必要がある
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		職員だけが確認できる位置や、書類等で保護され、情報の漏洩を防いでいる。	
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			・障害特性や子どもの理解を深めるために、職員研修の機会をもう少し増やしていけたらと思います。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5			
非 常 時 等 の	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	6		マニュアル確認や実施もあまり出来てないと感じる。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	5		色々な場面を想定し、訓練を行うべきだと感じる。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	4		安全計画の共有はなく、安全管理に必要な研修は行ってないので、児童の安全のためにも行って欲しい

対 応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3	怪我などの対応や家族(教室間)への報告は、すぐに行なっている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	3	各事業所のみならず、グループ全体で似たような状況についての対応や対策が共有されていると思います。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	4		虐待防止や事業所規定について、安全管理に必要な研修、福祉についての研修が少ないのももう少しあると有難いです。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	3		身体拘束についての共有は不十分だと感じる。